

テーマの決め方

テーマの見つけ方(何を調べるのか)

日常のいろいろな出来事・情報にアンテナを張りめぐらし、気になったこと・疑問に思ったことを見つけます。ある程度予備知識があるものが良いでしょう。全く調べる手立ての予測が立たないものや、自分にはとても調べられないとわかったものについては、テーマを変更する必要もあります。

- ① 好きなものや宝物について
- ② 学校や授業の中で学んだことを深めて
- ③ 家族や地域など、身の回りのことについて
- ④ 趣味やスポーツなどから
- ⑤ テレビ・新聞等のニュースから など

同じテーマでも人によって、なぜ調べようと思ったのか動機が違います。最後まで興味を持って調べるためには、自分が知りたいという強い動機(なぜ調べようと思ったか)が必要となります。調べていて楽しいこと、おもしろいことをテーマに選びましょう。

テーマの決め方

大きなテーマが決まったら、調べたいことを具体的にするために、テーマを絞ります。テーマを絞るときには、①「三点決め」、②「イメージマップ」、③「発想ひまわり」などが有効です。ただし、どれも連想ゲームにならないように注意しましょう。

良い例) 海 → 海辺の生き物 → ヒトデ …○ 発想が絞り込まれていく
悪い例) 海 → 泳ぐ → 夏休み …× 発想がずれていく

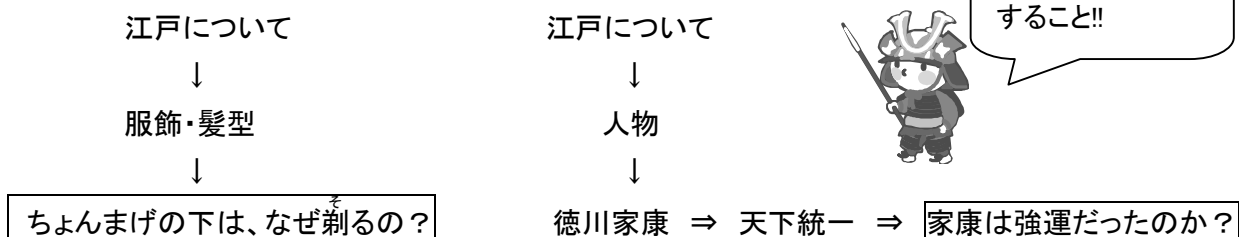
また、百科事典や国語辞典などで基礎知識を確認し、ジャンルや関係する言葉を探しましょう。

① 三点決め

大きいテーマから順に、中テーマ、小テーマへとキーワードを3つ決めます。それを繰り返し、最後が疑問形になるようにします。

例えば、「江戸について」なら、ファッションに興味がある人は服飾・髪型に注目し、中でもちよんまげの下は、なぜ剃っているのか^そが気になったら、それをテーマにします。人物に興味があり徳川家康について知りたいと思えば、またそこから三点、何が知りたいか絞っていけばいいわけです。必ず最後は、疑問形にしましょう。

例)



ポイントは、必ず最後を疑問形にすること!!

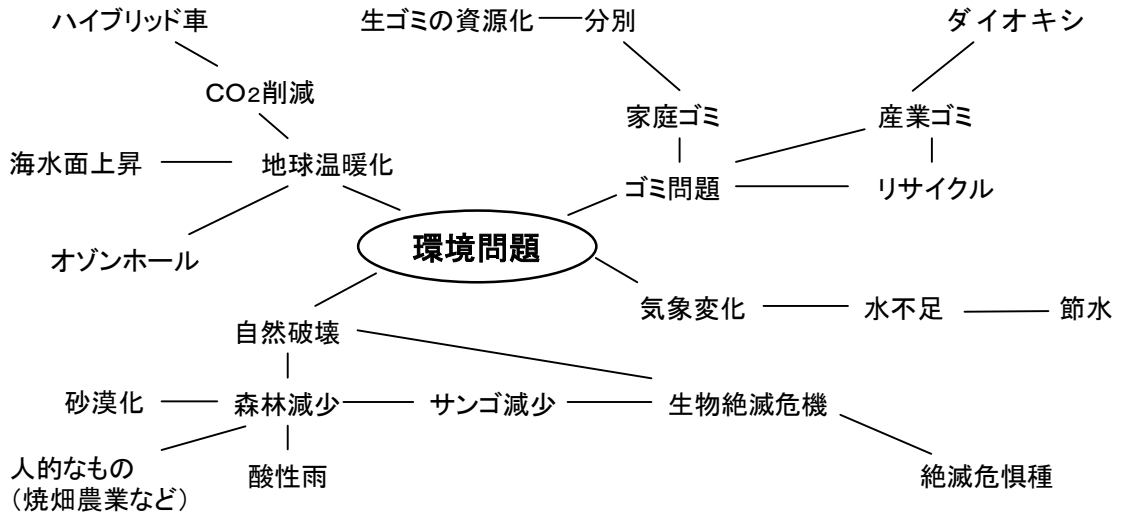


同じ「江戸について」でも、こんなに違う!!

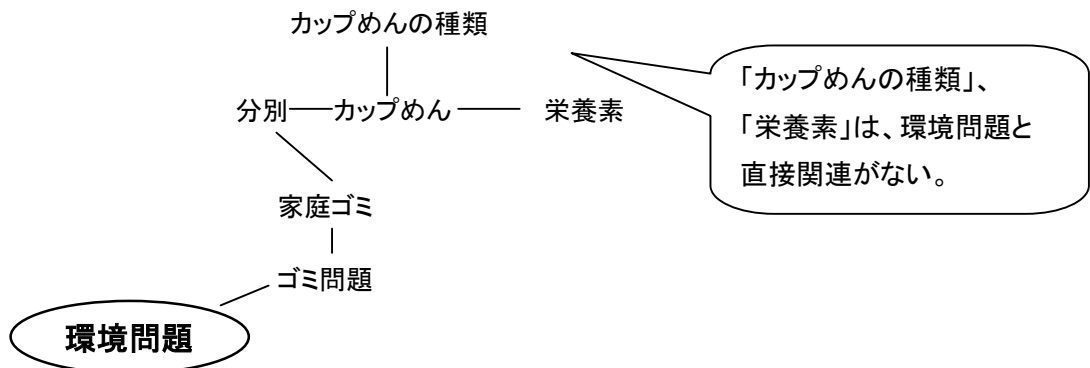
② イメージマップ(ウェビング[webbing・・・くもの巣状のもの]とも言う)

自分のテーマを深めたり、広げたりするための方法。関係する言葉を自由に書き出します。中央にキーワード(大きいテーマなど)を書き出し、関係する言葉をつなげていきます。広がっていった先の言葉も中央のキーワードと直接関連していなければいけません。

良い例)



悪い例)



③ 発想ひまわり

図書館の分類や教科別の分類などの切り口で、発想を広げる方法。テーマが与えられている場合に役立ちます。

